

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

①コンパクト+ネットワークで創る健康都市

数値目標	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率
中心市街地区域内の居住人口	10,811人	10,665人	10,629人	99.7%
中山間地域活性化施設等の年間利用者数	292,000人	277,000人	294,325人	106.3%

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	中心市街地区域内の従業者数	1,300人	1,262人	1,315人	104.2%	駅前一丁目8街区市街地再開発組合への積極的な活動支援を行うとともに、平成30年1月末の竣工を目指し、工事がスムーズに進むよう、支援する。
2	優良田園住宅指定箇所	3箇所	H30年度より目標値設定			優良田園住宅の建設の促進に関する基本的な方向及び建設区域等を定めた基本方針の策定により、中山間地域に住宅整備の促進を図り、子育て世代を中心とした移住に繋がるよう取り組みを推進する。
3	産業用地確保面積	8ha	H30年度より目標値設定			地元・地権者等との事業合意、県企業局との事業調整と併せ、進出企業を内定し事業着手する。
4	地区交流センター・公民館の年間利用者数	470,000人	447,500人	521,238人	116.5%	平成29年度から地区交流センターに全面移行に伴い、これまでの公民館事業の枠を超えた地域生涯学習の拡充と、地域におけるコミュニティの醸成を図るだけでなく、地域防災や行政サービスの拠点施設とし、地区交流センターを核とした地域との連携・協働によるまちづくりを目指す。
5	広域幹線道路(主要9路線)の平均通行時間	16.5分	19分	17.7分	107.3%	円滑な都市活動の展開と周辺市町との連携を強化するため、費用対効果の高い幹線道路の整備を進めるとともに、広域交通網を強化し、広域連携の活発化や渋滞緩和を進め、居住及び活動の快適性の向上を図る。
6	自主運行バス路線等総延長	109.6km	109.6km	116.9km	106.7%	自主運行バス5路線、乗合タクシー3路線の利用状況を注視しながら、効率性や採算性をふまえると共に地域特性にあった利便性の高い路線を検討し、持続可能な公共交通網を維持していく。
7	中心市街地の歩行者通行量	10,300人	9,400人	9,782人	104.1%	駅前一丁目8街区市街地再開発組合への積極的な活動支援を行うとともに、平成30年1月末の竣工を目指し、工事がスムーズに進むよう、支援する。恒常的な賑わいが創出されるよう、道路空間だけでなく広場など既存ストックを有効活用したイベントの開催や戦略的な情報発信を行う。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
8	地域イベント来場者数	7,512人	6,463人	17,731人	274.3%	各拠点施設を運営又は連携する団体等を支援し、イベント内容の充実とともに効果的な情報発信を展開していく。また、今後はSNSを活用した広報に更に力を入れることで、ターゲット層である子育て世代に本市中山間地域の魅力を伝え、更なる来訪拡大につなげる。
9	花に関するイベントへの来場者数	247,900人	240,820人	240,822人	100.0%	産学官と連携した「ふじえだ花回廊推進協議会」を中心として、市民総ぐるみで花のまちづくりを推進するため、市民団体等の活動のネットワークづくりの支援や、情報の一元化を図り、効果的な情報発信を行うことで、花の魅力による交流・来訪人口の拡大につなげる。
10	蓮華寺池公園への年間入込客数	164万人	152万人	146.7万人	96.5%	蓮華寺池公園開設30周年を経て、さらに魅力ある公園施設の整備を行い、人々の交流がさらに深まる空間を創出する。
11	中心市街地の緑視率	22.7%	21.8%	20.8%	95.4%	KPIの中心市街地の緑視率など目標の現状(実績)を把握し、関連する事業と連携を図り、より効果が出るように効率的に促していく。また、藤枝市景観計画を策定したが、その推進に向け、広く市民に理解してもらえるよう、啓発と周知に努め、協働による景観形成を目指していく。
12	市全体のCO ₂ の年間排出量	927.1千t	1016.4千t	1032.9千t	98.4%	各主体がエネルギーの有効利用や次世代自動車等の普及促進及び森林等の保全等の推進を図るために、必要な手続きや国県等が実施する支援制度などを紹介するといったサポート体制を構築する。木質バイオマスの安定供給に向けた課題解決に向けた関係者との協議を進める。
13	環境マネジメント取得事業所数【累計】	95社	78社	80社	102.6%	市民及び事業者の行動を促すこれまでの取組の継続に加え、出前講座及びセミナー等の環境教育による人材育成を行い、取組実施への啓発を強化する。
14	太陽光発電設備最大出力	80,000kW	50,000kW	42,700kW	85.4%	住宅の省エネ改修を促進するために補助金の要件を緩和する。新エネ設備販売店等と連携した啓発事業を検討する。
15	家庭から排出される燃やすごみ市民1人1日あたりの排出量	403g	412g	407g	101.2%	生ごみ処理施設の臭気問題の解決を図りながら、地域の拡大を検討していく。また、町内会や各種団体を対象としたごみ減量説明会の実施、環自協委員と協働しごみ排出時におけるステーションでの指導等により、更なる分別の徹底を図っていく。
16	登下校時における小学生・中学生の交通事故発生件数	0件	7件	10件	70.0%	これまでの交通安全日本一に向けた取り組みに加え、「ふじえだ交通事故ゼロ作戦」として、市民総ぐるみによる取り組みを実施する。特に、高齢者と子供の交通事故の削減を重点的に推進する。
17	人身交通事故発生件数	1,150件	1,210件	1,315件	92.0%	市民生活に密着する道路の安全性と快適性を高めるため、歩道の整備や橋梁の長寿命化を進め、計画的な管理を行いながら道路の安全の確保と交通の円滑化に取り組む。また、交通事故の多い交差点や通学路における緊急合同点検を進め、交通安全への取組を推進する。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
18	防災訓練に参加した市民の割合	29.0%	27.8%	24.2%	87.1%	多様化、大規模化する災害等(地震・風水害等の大規模な自然災害、武力攻撃等の各種事態及びインフルエンザ等の感染症等)から、市民の生命・身体及び財産を守るため、市民の危機意識(自助)の向上、地域防災力(共助)の強化、危機管理体制(公助)の充実を図り、防災・減災対策に努める。
19	災害時情報配信システム登録人数	7,000人	6,250人	6,081人	97.3%	
20	緊急輸送路に甚大な被害を及ぼす可能性のある跨道橋の耐震化率	100%	40.0%	30.0%	75.0%	緊急輸送路に甚大な被害を及ぼす可能性のある橋梁の耐震化を図るため、耐震補強設計を行うとともに橋梁耐震化工事を計画的に進め、道路の安全の確保と震災時の交通の円滑化に取り組む。
21	耐震性が劣る住宅数	6,191戸	7,151戸	6,829戸	104.7%	引続きプロジェクトTOUKAI-0事業を実施し耐震化を推進する。新規事業として、相談員を住宅に派遣し耐震化の啓発を実施する。その他、市民へのPR活動、往復ハガキを送り、耐震化への関心を呼び起こさせる。耐震補強の検討のための解りやすい資料を作成する。
22	準用河川整備延長	46,325m	45,690m	45,678m	99.9%	快適な生活環境整備と風水害から市民を守るため、準用河川の改修を推進し、治水安全度の向上に努める。
23	基幹管路耐震化率	43.6%	29.8%	45.9%	154.0%	人口減少や節水意識の向上など、将来の水需要予測を基に適宜事業化計画の見直しを行いながら、予算を有効活用と経費節減に努め、施設・管路等の耐震化と老朽化対策を計画的に推進する。また、経営安定化対策を推進し、将来にわたって、利用者に安定した水道水の供給を図る。
24	管路情報の電子化	L=310km	L=305km	L=303km	99.3%	緊急時に迅速な管路被災調査と復旧対策検討にも活用可能とする。平成27年度工事の残分、平成28年度工事分について更新業務委託を発注し、目標達成を目指す。
25	公共施設適正総量の維持	404,113.07㎡	404,113.07㎡	410,850.99㎡	101.7%	藤枝市アセットマネジメント基本方針、藤枝市施設マネジメント計画に基づき、施設実態調査を実施し、劣化度等に基づく修繕計画等を検討し、施設の長寿命化を推進する。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

②産業としごとを創る健康都市

数値目標	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率
創業支援件数【累計】	133件	46件	139件	302.2%
市税収入額増加率(H26年度実績を基準(100))	105%	102.0%	103.1%	101.1%

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	農商工連携製品創出数	37件	22件	27件	122.7%	連携事業に関係する事業者や農業者のマッチング商談会を開催し、連携に導く機会を設け、具体的な取り組みを推進する。
2	経営革新計画承認件数【27年度から累計】	30件	12件	18件	150.0%	FEG支援センターエフドアが商工会議所等支援機関と連携し、計画策定や申請に関する助言・指導を行い制度の活用促進を図る。
3	市内企業でICTを新たに導入した企業数	18件	H30年度より目標値設定			ICTコンソーシアムが中心となって、ICTを用いて業務改善や新規事業開拓等に取り組む意思のある地元企業を対象に、まずはコスト及び作業効率等の事業効果を判定するICT導入診断を実施し、ICT導入のきっかけづくりを行う。
4	空き店舗活用チャレンジ支援事業補助金利用件数	5件	2件	0件	0.0%	商店街の空き店舗情報のデータベース化による情報発信の強化により、開業しやすい環境をつくる。また、創業支援室と連携し、平成25年度に国の認定を受けた「創業支援事業計画」に基づき、起業・創業を目指すチャレンジャーへの支援を強化する。
5	開業チャンス！応援事業利用件数(店舗所有者利用分を除く)【累計】	10人	2人	10人	500.0%	
6	ふじえだ・まちゼミ参加店舗数	52店舗	45店舗	53店舗	118.0%	選択と集中により、がんばる商店街を重点的に支援するとともに、高齢者などの買い物弱者支援に取り組む団体に補助する。また、「ふじえだ・まちゼミ」の更なるブラッシュアップを図るため、「静岡県まちゼミフォーラムin藤枝」を開催する。併せて、商店街誘客促進事業の実施等により、商店街への回遊性の向上を図り魅力ある商業地づくりを推進する。
7	藤枝型買い物支援サービス応援事業活用団体数【累計】	20団体	5団体	14団体	280.0%	

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
8	農用地利用集積面積	955ha	766ha	688.8ha	89.9%	意欲ある農業の担い手が、効率的・効果的な農業経営を行えるよう農地の集積・集約化を図り、経営力の高い担い手を育成する。
9	認定農業者の年間農業所得目標の達成率	45.0%	30.0%	25.9%	86.3%	また近年、有害鳥獣による農作物被害の拡大が顕著化しているため、有害鳥獣捕獲者への支援を行い、農作物被害の抑制により優良農地を確保し、効率的な農業生産環境を整備することで、本市の力強い農業づくりを推進する。
10	認定就農者数(新規就農者)育成目標数到達率	81.5%	70.4%	70.4%	100.0%	新規就農や営農相談及び就農PR等を実施することで、農業の担い手確保を図るとともに、経営不安定な就農初期段階の青年就農者の意欲喚起と営農定着を図る。
11	地域住民による農地等保全活動の取組面積	255ha	180ha	229.8ha	127.7%	農業者の高齢化や混住化により機能が低下している農地や農業用水路等の保全管理について、非農業者も含め地域一体で行う活動を支援し、農業・農村の持つ多面的機能の向上を図る。
12	農業基盤整備促進事業受益農地面積	30.0ha	15.0ha	25.8ha	172.0%	また、地域の実情に即したきめの細かな農地・農業水利施設等の整備を実施し、生産効率の向上を図り、農業競争力の強化を図る。
13	フーズサイエンスヒルズプロジェクト参加企業数	37社	28社	32社	108.0%	市内事業者への情報PRを推進し、取り組み内容を事業者に周知させることで、参加事業者を募る。
14	企業立地件数	58件	46件	51件	110.9%	
15	企業立地優遇制度による設備投資額【累計】	290億円	170億円	267億円	157.1%	企業が抱える経営課題やニーズを的確に把握し、立地環境の更なる充実に努め、企業の定着と誘致を推進する。
16	FEG支援センター「エフドア」活用件数	450社	315社	256社	81.3%	エフドアのPRを強化すると共に各種セミナーや勉強会の開催を通じて相談者を増やしていく。
17	FEG戦略プログラムによる新商品、新サービス開発数	36件	9件	10件	111.1%	引き続き伴走型支援により事業者をサポートする。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
18	女性の創業支援者数【累計】	315人	90人	162人	206.7%	起業の基礎編・実践編・事業継続セミナーを開催しながら、他支援機関と連携を取り藤枝ならではの支援体制を構築し、また、事業実施の周知に努める。
19	男女共同参画推進事業所認定数	33事業所	25事業所	26事業所	104.0%	産業集積推進課や商工会議所等と連携、情報提供を密にし、並行して、認定されるメリットについても模索し、認定事業所数の拡大を目指す。
20	施設改善等の事業所数	2事業所	1事業所	5事業所	500.0%	今後も女性や若者が働きやすい環境を作るため、引き続き事業のPRに努めて行く。
21	資格取得者数	15人	12人	6人	50.0%	中小企業の人材育成に有益であり、従業員のモチベーションアップにもつながることから、企業へのさらなるPRに努める。
22	シルバー人材センター登録者数	1,100人	1,040人	929人	89.3%	高齢者の就業機会の確保に努め、派遣事業を促進するとともに、介護予防や日常生活支援などの多様な就業にも対応して行く。会員確保のため、PRに努める。
23	福祉施設利用者の一般企業等に就職した年間人数	27人	19人	6人	31.5%	就労支援体制の充実にに向けた課題の解決、一般企業等の就労促進に向けた啓発を関係機関と連携して取り組んでいく。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

③ひとの流れを創る健康都市

数値目標	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率
年間観光交流客数	250万人	242万人	264万人	109.1%
転入者数	4,953人	4,953人	4,530人	91.5%

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	県外からの転入者数の増加	1,800人	1,760人	1,743人	99.0%	全国的に人口減少が進む中で、人口増加を果たしてきた本市にもその影響が及んでおり、今後、人口の減少がこれまで以上に顕著になる。移住定住イベントなどの直接的な施策展開はもとより、これまで続けてきた4K施策や中心市街地の活性化、ICTの推進など、まちの魅力づくり、魅力磨きを両輪として進めていく。 特に、メインターゲットを子育て世代に絞り込み、移住し、本市に定着ができる取り組み、そして、現在の住民が市外転出しないような流出防止策を含めて、あらゆる施策を検討していく。
2	ふじえだ住まいのコンシェルジュにより移住・定住に結び付いた人数	100人	40人	27人	68.0%	
3	20～30代の転入者数	3,106人	2,817人	2,571人	91.3%	
4	子育て世代(20～40代)の転入者数	3,449人	3,449人	3,146人	91.2%	
5	市内に就職した年間就職者数(連携4大学)	62人	30人	50人	166.7%	
6	空き家バンクで移住・定住に結びついた世帯数	33世帯	21世帯	23世帯	109.5%	

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
7	地域資源発掘・育成講座の年間参加者数	194人	176人	144人	81.8%	藤枝型のまちづくり観光イベントとして「藤枝おんぱく」を開催し、来訪・交流人口の拡大による経済波及効果や、地域のキーパーソンの発掘・育成、地域コミュニティの醸成、地域間ネットワークの構築など、着地型観光により「選ばれるまち」づくりを推進する。
8	体験型観光プログラム年間参加者数	2,800人	2,200人	3,000人	136.4%	
9	外国人観光交流客数	25,800人	22,650人	31,537人	139.2%	2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後も、訪日観光客の増加が期待されるため、関係機関・団体と連携し、さらに多言語サービス等の環境基盤づくり、観光施設の機能充実を進めていく。
10	国内友好都市年間交流件数	58件	52件	52件	100.0%	姉妹都市・友好都市との市民・民間レベルでの交流事業を促進し、来訪人口、交流人口の拡大を図る。さらに交流促進に当たり、藤枝市都市交流促進事業費補助金制度の周知を図る。
11	国外姉妹都市年間交流人数	1,560人	1,440人	1,465人	101.7%	
12	歴史文化施設来場者数	161,250人	154,500人	218,849人	141.6%	東海道で繋がる静岡市・島田市との連携によるスケールメリットを活かした事業を行う。また、歴史文化資源を活用した体験型事業の「みちゆかし」、大旅籠柏屋・内野本陣のイルミネーションなど、若い世代をターゲットとした事業を展開し、来訪者の新規開拓を目指す。
13	サッカーに携わる人の数	3,100人	3,000人	3,817人	127.2%	「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」を着実に推進し、サッカーの更なる振興と普及を図り、サッカーを核としたまちづくりを推進する。また、女子サッカーについては、地域で支える藤枝独自の女子サッカーの好循環を目指し、普及目的の「なでしこ広場」、育成を主眼とする「なでしこアカデミー」を継続して実施していくとともに、女子サッカー選手、指導者等の生活基盤の安定に向けた雇用先確保の取組を行うことで、女子サッカー選手、指導者等を受け入れやすい環境を構築し、地域おこし協力隊の定住とともに女性の移住、定住促進に繋げていく。
14	女子サッカーの競技人数	350人	290人	232人	80.0%	
15	ふるさと応援寄付金収入額	3億円	1.8億円	26.5億円	1472.2%	重点施策推進のための財源確保、地域産業の活性化、そしてシティ・プロモーションの観点から、魅力ある返礼品の掘り起こしや新たな寄附申込サイトを開設するなど、更なる寄附拡大に向けた取組を推進する。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
16	茶改植等面積	8ha	3ha	2.3ha	76.7%	藤枝茶を未来へ繋ぎ、拓き、輝かすことのできる、やる気のある人材を確保、育成し、支援する。また、茶園集積による基盤整備事業を実施することで、機械化の推進とコスト削減を目指し、高付加価値化の取組みをさらに推進する。
17	藤枝ジュニアお茶博士認定数	356人	236人	223人	94.5%	茶文化の1つである「茶手揉技術」を学ぶことで、国内外からのお客様にも広い知識で対応できる藤枝ジュニアお茶博士を育成する。
18	年間宿泊客数	173,000人	164,000人	214,960人	131.1%	国内外において、効果的な観光プロモーションを展開し、本市の観光資源のPRに努めるとともに、周辺市町と連携した広域観光により、国内外からの誘客を促進し、来訪・交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。
19	地域と市民活動団体等との年間連携事業数	19事業	13事業	14事業	107.7%	まちづくり総合事業補助制度を活用し、地域課題に取り組む市民活動を促進・育成するとともに、地区交流センターと連携して地域との連携による事業の拡大を図る。
20	ディーセントライフ事業参加者数	1,000人	700人	669人	95.6%	地域貢献活動に取り組む市内の企業や団体などへの積極的な周知を進めるとともに、市民団体や地域コミュニティが主催する事業をFボラ事業として、登録者の活動機会の拡大を図る。
21	市民活動団体数	500団体	490団体	533団体	108.8%	藤枝ボランティア登録者と市民活動団体とのマッチングにより、会員の高齢化や人材不足に悩む団体の活動を支援するとともに、市民活動支援センターにおけるNPO法人化など幅広い相談業務の充実により、市民活動団体の活動継続及び新規団体の設立を支援する。
22	福祉ボランティアの登録団体数	214団体	197団体	192団体	97.5%	
23	福祉ボランティアの登録者数	5,160人	5,130人	5,548人	108.1%	平成28年度に策定した第4次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画を基に、効果的な活動につながるよう支援を行う。
24	認知症サポーター養成講座参加者数	19,000人	13,661人	13,472人	98.6%	認知症サポーター養成講座受講者が、より実践的かつスキル向上にむけたサポーターのステップアップ講座の企画、開催を進めていく。
25	介護予防普及啓発事業参加者数	4,120人	4,120人	3,872人	94.0%	また、ロコモティブシンドローム予防、口腔ケアや低栄養の予防、リハビリなど予防に特化した啓発活動へ横展開を進める。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
26	要支援要介護認定を受けていない高齢者の割合	86.0%	85.6%	85.1%	99.4%	昨年度と同様に、各事業の参加促進を行う。一部の生きがいデイサービスの通所区域を改め、参加者の増を図る。
27	在宅看取り率	20.0%	18.7%	17.9%	95.7%	口腔ケアマニュアル作成委員会作成「口腔ケアラミネート版」の活用と普及、口腔ケア技術の向上定着。安心すこやかセンターと圏域の薬局薬剤師、ケアマネジャー、介護事業所等とネットワーク会議の開催。ICTの活用と普及。医療・介護連携を一層の強化
28	自立相談支援事業利用件数	300件	225件	410件	182.2%	アウトリーチを積極的に行い生活保護に至る前の段階から早期に支援していく。学習チャレンジ事業については、H28度と同様に生活保護世帯及び就学援助受給世帯に学校の協力を得て募集をかけていく。
29	高校進学率	100%	100%	100%	100.0%	将来の就職(自立)に向けて、学習習慣の定着、高校進学を促進していく。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

④ 出会いと子どもの未来を創る健康都市

数値目標	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率
出生数	1,095人	1,093人	1,064人	97.3%
婚姻年間届件数	710件	698件	579件	83.0%

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	結婚応援事業の参加人数	110人	110人	496人	450.9%	引き続き、「結婚の希望がある方」を対象としたセミナーと、実際の出会いの場の提供としての婚活イベントの実施により、出会い・結婚のサポートを継続する。実施方法についても、民間事業者への業務委託による方法としていきたい。
2	子育てにやさしいまちづくりイベント参加者数【累計】	300人	120人	326人	271.7%	㈱まちづくり藤枝の事業「ママシネマ事業」について非常に好評であるため、今後も継続開催を予定しており、平成29年度については6回程度の開催を予定。「子育てママの自分磨き事業」については、今後の事業開催を検討中。
3	地域子育て支援拠点での年間相談対応件数	5,000件以上	3,200件	3,127件	97.7%	「あかちゃん講座」や「子育てフェスタ」の開催、保健センターとの連携による妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う。
4	保育所待機児童数	0人	3人	5人	60.0%	ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21に基づく計画的な施設整備の実施。子育てコンシェルジュによる適切なマッチング。
5	継続支援者数(妊娠出産包括支援)	33人	30人	20人	66.7%	市内産科及び、近隣市の産科医との連携を強化していく。
6	保育者の知識・技術向上研修連続受講者数(全10回)	180人	72人	72人	100.0%	引き続きセミナーを開催し、児童の評価～個別の指導計画作成等までを系統的に学びにつなげる。
7	特別支援学級設置校数	20校	17校	17校	100.0%	特別支援学級の 신설、増設にかかわる学区ごとの人数を把握し、保護者の意思確認を丁寧に進めていく。学区ごとの人数確認を定期的に行い、配慮が必要な児童生徒の特性に応じた、細やかな配慮ができる環境をさらに整えていく。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
8	科学教室参加者数	225人	150人	705人	470.0%	より興味の対象を明確化する方法で周知を図るとともに、ターゲット年齢を絞っていくことで中身の濃い科学教室を実施していく。また、JAXAとの今後の連携に向けて事業協力の可能性を探っていく。
9	進んで挨拶ができるこどもの割合	97.0%	88.0%	84.7%	96.3%	年代別マナーブックの配布を継続し、学校での道徳授業や学活時間での活用などを通じ、更なる浸透を図る。また、「ふじえだマナー”愛”言葉」については、電柱広告の利用やポスター作成などにより、広く市民への周知や啓発を推進する。
10	幼稚園・保育園での親学講座年間受講者数	985人	949人	1,120人	118.0%	就学前段階の親子がふれあいながら楽しめる学習機会を提供することで、親も子も相互に良いかわりができるきっかけをつくとともに、子どもの今後の良好な人格形成に寄与できるよう事業を推進していく。また、講座メニューの充実を図るため、新規講師開拓に力を入れ、多様な学習機会を創造していく。
11	ALTとの英語課外活動に参加した児童・生徒数【累計】	700人	400人	493人	123.3%	FCA、ALT 計13名の外国人指導助手を活用した課外英語体験活動を実施し、児童生徒の英語に対する興味や意欲を引き出すとともに、英語運用能力の向上や国際感覚の育成を図る。内容については昨年度の評価をもとに検討し、より英語を使用する必然性をもたせた内容としたい。
12	児童1人当たりの図書館での年間図書貸出数	25.6冊	24.4冊	22.8冊	93.4%	積極的な広報と館内展示の工夫を行い、併せ、本に親しむ機会を数多く提供するために、ボランティアなど関連団体と連携しながら、貸出数の増加を図る。
13	ふじえだ型ピア・サポート研修修了者数	288人	207人	207人	100.0%	各学校で継続的にピア・サポート活動に取り組み、児童生徒同士における良い環境づくりに繋げていく。
14	給食食材への県内地場産品年間使用率	38.0%	32.0%	34.4%	107.5%	生産者から学校給食センターへの直接納入をさらに促進する。また、市内産の食材を使用した加工品の創出によりさらなる地産地消を目指す。また、親子料理教室等を通して地産地消について学ぶ機会を増やし、新給食メニューの定着を目指す。
15	ジュニアリーダー育成数	24人	21人	24人	114.3%	ジュニアリーダーや青少年指導者会については、長く活動に携わっていただいている方がいる反面、これらの会の中の指導者の固定化がみられる。ジュニアリーダーに関わる活動を継続していくためにも、指導者の交代を促すなど会の体制充実を図っていく。
16	放課後子ども教室参加者数	520人	484人	479人	99.0%	放課後子ども教室のない地区での新規教室の開催のための取り組みが必要となっている。
17	公民館・交流センター講座年間受講者数	6,250人	5,950人	6,287人	109.4%	「集まる」「学ぶ」「つなぐ」の基本理念を基に、地域の特色を生かし、市民が互いにふれあい学び合う学習講座を推進する。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
18	健康マイレージ達成者数	3,500人	2,000人	1,672人	83.6%	健康マイレージの“お得感”や“手軽さ”が一目でわかるチラシを作成するなど、わかりやすさに重点を置いたPRを実施。また、健康経営を進める市内企業と連携し、従業員の健康管理ツールとして“健康マイレージ”や“楽しく歩いて健康アプリ～あるくら～”が活用できるよう、包括連携協定も視野に入れ協議を開始。
19	保健講座等年間参加者数	5,742人	5,691人	5,548人	97.5%	「保健委員だより」に加え、地区交流センターへの保健講座案内掲示や保健委員同士の声掛け等により、保健講座開催の周知を図り、参加者数の更なる拡大に努める。
20	食育指導の実施数	642回	618回	690回	111.7%	学校給食による食育指導により、児童生徒が食に対する正しい理解と判断力がさらに高まるよう、さらに充実した指導を継続的に実施していく。
21	がん検診受診率	59.5%	58.2%	62.8%	107.9%	新規受診者の拡大と継続受診の維持に努める。
22	市立総合病院の正規常勤医師数	125人	112人	101人	90.2%	内分泌内科及びリハビリテーション科については医師不在であり、内科、神経内科、放射線治療科、血液内科、病理診断科、緩和ケア科も医師1人体制となっている。これらの科を重点的に、より一層の医師の充実を図る。また、看護師については、現状の稼働病床に対して適正な看護師数に達していることから、引き続き離職防止に努めるとともに、適正な看護師数の維持を図る。
23	市立総合病院の看護師数	585人	552人	569人	103.1%	
24	休日当番医開業日数	71日	70日	70日	100.0%	引き続き、休日昼間の初期救急医療体制を維持するため、志太医師会との連携、協調を図る。
25	市民体育館・市民武道館の年間利用者数	180,000人	166,000人	169,435人	102.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじえだマラソンなどのスポーツイベントでは、近隣の大会などを参考に参加者ニーズに沿った大会を開催する。 ・スポーツ推進委員等によるニュースポーツ教室・大会では、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるよう、普及活動に努める。 ・現在6つある総合型地域スポーツクラブの運営をサポートするとともに、新規クラブの設置に向け、関係者と協議を進める。 ・スポーツ施設を有効に活用するため指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活用することで、利用者の利便性向上、効率的・効果的な管理運営を行う。
26	総合型地域スポーツクラブ数	8クラブ	7クラブ	6クラブ	85.7%	
27	国等スポーツ大会の出場者数	124件	117件	96件	82.1%	民間企業と連携を図り、オリンピック選手などによるスポーツ教室を開催し、各種競技の普及や競技力の向上に努める。また、小学生世代の選手へのサポート体制を強化するため、スポーツ食育講習会など、指導者・保護者向けの座学講座を開催する。

NO	KPI名	最終目標値	H28目標値	H28実績値	達成率	今後に向けた改善点
28	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの輩出人数	常時5人以上	3人	6人	200.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・全国や世界で活躍できるトップアスリートの育成(実技講習会、座学講習会、講演会等の実施) ・各競技の競技環境が異なるため、東京オリンピック合宿誘致種目を対象とした事業から、サッカーに特化した取組みに再構築して推進する。
29	芸術文化体験事業の参加者数【累計】	14,800人	11,200人	14,130人	126.2%	<p>小中学校等に文化の宝箱事業の良さをアピールし、随時実施相談に応じる中で、学校側と市の双方にメリットとなる事業展開を目指す。また「子ども・初心者文化体験教室」及び当日のワークショップを拡大し、より多くの市民が様々な芸術文化に触れる機会の創出に努める。</p>